

◆国松石材株式会社

発行所/国松石材株式会社

本社 福岡市博多区下呉服町8-35
 営業本部 粕屋郡志免町南里11-5
 TEL 092-957-3500/FAX 092-957-3505
 呉服町 福岡市博多区中呉服町6-1善導ビル1F
 ギャラリー TEL 092-291-2454/FAX 092-291-2456
 墓石ガーデン 福岡市東区香椎472-3 (三日月山霊園下)
 TEL 092-672-7257/FAX 092-672-7258
 工場 福岡市東区松田3-16-12
 TEL 092-629-1189/FAX 092-629-2043
 <ホームページアドレス> <http://www.kunimatu.com>

松ぼっくり

2004年 春号

博多三傑

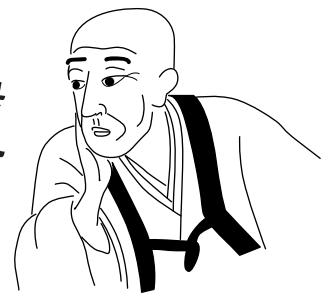
宗室



宗湛



宗九



博多は、古代「金印」の時代から、日本の玄関口として栄えてきました。戦国時代から江戸時代のはじめ頃の博多には海外貿易で富を得た豪商がたくさんいました。中でも有名なのは「博多三傑」とよばれた嶋井宗室、神屋宗湛、大賀宗九の三人です。



JR博多駅から北西へまっすぐ伸びる大博通りや、その周辺は、豊臣秀吉の「太閤町割り」によって町筋の基本ができました。今もその名残を御供所町界隈に見ることができます。

その御供所町の妙楽寺に神屋宗湛のお墓があります。神屋家は代々勘合貿易の家でした。宗湛の数代前の神屋寿貞は石見銀山(島根県)の開発者としても知られています。

一五八七年正月、大坂城で開かれた秀吉主催の大茶会に招かれた宗湛は、並み居る大名、茶人を押しよけての破格の扱いを受けます。朝鮮出兵を考えていた秀吉は、兵站基地として、博多と博多商人の協力が必要だったのです。荒廃した博多を復興させることは商人の悲願でもありました。その年の六月、九州平定を終えた秀吉は、戦乱によって焦土と化していた博多の町割りを行いました。

宗湛は秀吉に協力し、軍用米の集荷や、家屋建設など懸命に働きました。町割りでは、かつての町並みの後や井戸を探し、自ら測量して歩いたといわれています。

嶋井宗室の出自ははっきりしていませんが、朝鮮貿易、博多練酒の醸造業、質屋業などの多角経営で、一代で財を築いた豪商と考えられています。宗室も博多商人のリー

ダーとして、宗湛らとともに町割りに協力します。しかし、宗湛が終始秀吉に協力的であったのに反し、宗室は朝鮮出兵を取りやめるように秀吉に進言しています。出兵したことにより、朝鮮貿易ができなくなれば、博多の町人が困るからです。

また、宗室は、孫にあてた遺言状に、聖徳太子の憲法に倣って、十七条の遺訓をしたためています。十七条には、商人としての信条が凝縮されており、日本最古の商家の遺訓、社訓のルーツといわれています。遺訓の結びに、宗室は「双六は勝とうと思つて打つてはならない、負けぬように心して打つ」と書いています。商いの神髄は「勝つ」ことではなく、「負けない」ことである。と言っています。博多商人のリーダーだった宗室のお墓は、千代町の崇福寺にあります。

宗室、宗湛は、秀吉の時代に頂点を極め、一地域の町人から天下の町人へとなりましたが、一五九八年に秀吉がその生涯を終え、豊臣政権の幕が下りると、天下の豪商としての時代も驕りをみせはじめます。

これに対し、大賀宗九は、徳川政権になって、大きく飛躍しました。

一六〇〇年、黒田長政が福岡藩主として入国します。豪商の一人に名を連ねていた宗九は、福岡城築造の際に、多額の金銀を献上しました。長政も、宗九を茶会に招い

たり、屋敷を訪れたりしています。長政にとって、秀吉と親しかった宗室や宗湛は疎ましい存在だったのでしよう。大賀家は黒田氏取り立て町人、藩の御用商人となり、幕末までその家名を守りました。

黒田藩は長年にわたる功績に報いるため、領内の土地を贈ることにしましたが、宗九は「特別な扱いを受ければ子孫が怠惰になります」と固辞したといわれています。三男二女に恵まれた宗九は、三男の宗伯に商才を見いだし家業を継がせました。晩年、病に倒れた宗九は、三人の息子を呼び、財産を三等分するよう言いますが、宗伯は「末弟でありながら家業を継がせてもらっているだけで十分です」と首を振りました。そんな厳しささと潔さをもった宗九・宗伯親子のお墓は、御供所町の幻住庵にあります。

商人（あきんど）と聞くと、時代劇に出てくる「おぬしも悪よのお」の越後屋を連想してしまいがちな私でしたが、これからは、博多の繁栄と発展を考え、それに尽くした厳しく潔いリーダー達、博多三傑を思い浮かべることでしょう。

*1 室町時代に行われた日本と明国間の貿易

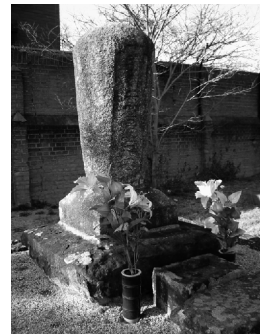
博多三傑MAP

■「旧下市小路」町名碑



太閤町割りのため最初に縄張りをしたところ。かつては、一番という意味で「市小路（一小路）」という地名がありました。

■嶋井宗室墓所



■崇福寺

■豊国神社/神屋宗湛屋敷跡



宗湛は屋敷内に秀吉の霊を祀り、その恩に報いたのが豊国神社です。

■嶋井宗室屋敷跡

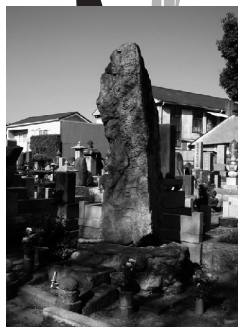


■櫛田神社博多歴史館
「町割」に物差しとして使われた間竿(複製)や秀吉の「定書」(楽座令)などが展示されています。



■嶋井宗室屋敷の博多べい
嶋井宗室屋敷跡から櫛田神社境内に移設、復元したものです。

至博多駅



■神屋宗湛墓所



■大賀宗九・宗伯墓所

昭和通り

明治通り

至天神

博多小学校

呉服町ギャラリー

至福岡県庁

大博通り

幻住庵

聖福寺

櫛田神社

東長寺

妙楽寺

御笠川

数珠・念珠

お彼岸、お盆、法事などの仏事の際には、数珠を手にお参りをします。その際に自分と長さが違ったり、様々な種類の数珠を目にされたことはありませんか。この身近にある数珠とはどんなものなのか調べてみました。

辞書には「仏様を拜んだり、念仏を唱える回数を数えたりする時に手にかけ、爪繰るつまぐり仏具。多くの小さい珠を糸に貫いて輪に作る。(国語大辞典・小学館)」とあります。

その起源には様々な説がありますが、正式には威儀をととのえること、それから数珠ということばのとおり、この珠たまを使って念仏を唱える回数を数えることから来しました。

宗旨・宗派によって使用する数珠の種類は色々ありますが、珠の数は百八が基本です。これは、俗に百八の煩惱を表していると言われていて、珠の中を貫いている糸は、仏様の心が人々の心の中を通り、それを円く輪にしてあるのは、心が円く素直になることを意味しています。

この基本の百八の珠より現在では持ちやすくなる為に五十四珠、二十七珠、百八にちなんで十八珠など色々な形式の略式の数珠がみられます。

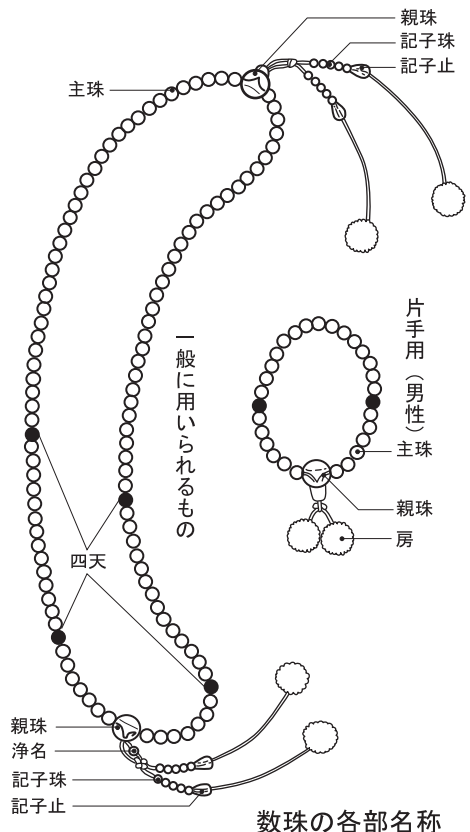
数珠の珠の数は、三回、七回、二十一回と念仏を唱える数に合わせてあり、回数を気にせずにお経をあげることができます。

真言宗を例にとってみると、「南無大師遍照金剛」を唱える数は、三回、七回、二十一回、百回、千回、というように決まっています。

七回唱える場合は、一回唱えることに数珠の珠をひとつずつすすめます。小さな四天までくれば七回唱えたこととなります。ただし、百回以上の場合には作法が違っており、親珠から数え始めて、次の親珠まで五十四回数え、親珠を越えずに来た道をもどり、百八回数えます。

数珠は、宗派によって形や掛け方も異なります。(別図)これを機会にお寺でお参りする際に、正式な数珠と掛け方を聞かれていますか。

*1 指の先で順に送って動かす



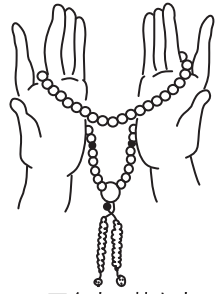
数珠の各部名称



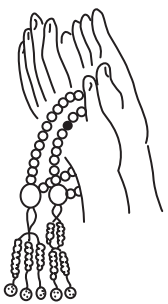
浄土宗の持ち方 (合掌)



真言宗の持ち方



天台宗の持ち方



日蓮宗の持ち方



禅宗の持ち方



浄土真宗の持ち方 (一輪)

【参考資料】

仏事の基礎知識 藤井正雄著
仏教べんり辞典

町名散歩

第六回

千代町



今回の町名散歩は、福岡県庁などが建ち並び、福岡県政の中心地となっている千代町を紹介いたします。

千代町にある東公園は、市街地にある公園とは思えないほど緑あふれる広々とした所です。公園内には、立派な銅像や資料館など興味深いものがたくさんあります。

その中でも、特に目を引く日蓮聖人と亀山上皇の銅像は、鎌倉時代の文永の役で、元軍との激戦が繰り広げられた元寇の古戦場跡にちなんで、明治三十七年に建立されました。

日蓮聖人の銅像は総高約一〇・六メートル、重量約七五トンで、右手に数珠、左手に経巻を持ち、貫禄があるすばらしい銅像です。日蓮聖人は、時の鎌倉幕府に「立正安国論」を提出して、文永の役・弘安の役の二度にわたる外国からの侵略を予言しました。また、同じく元寇の際に、身をもって国難を救いたたいと伊勢神宮に祈願された亀山上皇も、元寇ゆかりのこの地に銅像が建てられました。二つの

銅像は、元寇によって尊い命を落とした多くの人々の霊を慰めると共に、平和を願う気持ちが込められているように思いました。

また東公園内には、商売の神様で知られている十日恵比須神社があります。お正月の一月八日から十一日に行われる、十日恵比須大祭では、多くの露店が並び、名物の福引きなど多くの参拜者で毎年賑わいます。

福岡県庁と福岡県警察本部も、東公園を囲むように建っています。行政棟には、誰でも気軽に利用できる県民ホールがあり、物産観の展望室では、千代町周辺を見渡せ、のんびりと過ごすこともできます。

今回紹介した千代町の東公園付近は、天気の良い日はたくさんの人々が訪れています。私たち福岡市民の憩いの場所であると共に、歴史的なものに触れて、見て、感じる事ができる貴重な場所であるように思いました。

お墓に関する事で悩みがあれば、どのような事でも同封のハガキにてお寄せください。抽選でプレゼントを

第2回 松ぼっくり杯ゴルフコンペ結果報告

昨年の10月11日(土)、福岡サンレイクゴルフクラブにて松ぼっくり杯ゴルフコンペが行われました。第2回となる今回は前回よりも多くの方にご参加いただきました。社員を含めた6組・21名による大熱戦の結果は以下の通りとなっています。

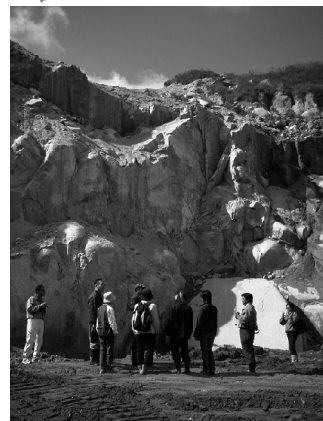
優勝	是永 朋治様	(ネット72.6)	グロス74)
準優勝	萩尾 雄三様	(ネット72.8)	グロス80)

次回もたくさんのご参加お待ちしております。



ご参加の皆様お疲れ様でした。

天山御影石の丁場見学に行ってきました！



昨年の10月25日(土) 佐賀県七山村にある天山御影石の丁場見学に行ってきました。今回は三日月山霊園に墓所をお持ちになっている方をご案内いたしました。今後も様々な企画を検討しております。ご要望がございましたらお寄せください。



プレゼント当選者発表

厳正なる抽選の結果、次の方々が当選されました。たくさんのご応募ありがとうございました。

- ①商品券5,000円分
寺田兵吉様、藤木須美子様、水町雄吉様、村瀬伸二様
- ②胡麻豆腐詰合せ
石橋キミヨ様、他9名様
- ③お香セット
南里重信様、他14名様



お墓に関する事で悩みがあれば、どのような事でも同封のハガキにてお寄せください。抽選でプレゼントを